

大人が楽しむ科学教室2026

千葉県 科学フェスタ
これからの私たち
2026

/// 2026年6月のプログラム //////////////////////////////////////

身近な科学シリーズ

6/6 土 単体金属の不思議 —磁性・超伝導、冷やしたり押ししたり—

13:30~15:00 講師 深澤 英人 (ふかざわ ひでと) | 千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 物理学コース 准教授



本講座では、まず温度の概念と低温物理の基礎を簡潔に解説し、液体窒素を用いた超伝導体の磁気浮上実験を通して低温現象を体感的に紹介します。その後、より低温を実現するための冷却技術や物質に高圧を加える手法について説明し、単体金属が示す多様な磁気的性質および超伝導現象の概要を説明します。講座後半では、常温常圧で安定な α 相マンガ (α -Mn) に着目し、近年の研究動向と最新成果を紹介します。

千葉大学フロンティア医工学センターシリーズ

6/20 土 整形外科医が教える「腰痛」のメカニズム ～構造の理解から医工連携による最新治療まで～

13:30~15:00 講師 折田 純久 (おりた すみひさ) | 千葉大学フロンティア医工学センター 副センター長
千葉大学大学院 融合理工学府 基幹工学専攻 医工学コース 教授



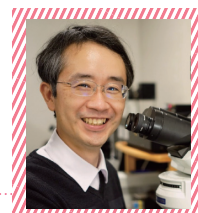
多くの日本人が悩まされる「腰痛」。なぜヒトの腰は痛くなるのでしょうか？その原因は、二足歩行を行う人間の「背骨の構造」そのものに隠されています。本講座では、まず腰痛の基本的なメカニズムや代表的な病気（ヘルニア・脊柱管狭窄症など）について、イラストやデータを交えてわかりやすく解説します。さらに、医学と工学が連携した「医工学」の視点から、最新の画像診断技術や、身体の動きを解析するバイオメカニクス、進化する治療法についても紹介します。自分の身体の中で起きていることを科学的に理解し、明日からの予防に役立つ知識を持ち帰ってください。

メンデル講演会シリーズ

※この講演会は、メンデル協会との共催です。

6/27 土 光合成できる動物細胞を創る

13:30~15:00 講師 松永 幸大 (まつなが さちひろ) | 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻 教授



太古の昔、真核細胞が光合成細菌や藻類を消化せずに受け入れ、共生することによって植物が誕生しました。そのメカニズムを知るために、藻類を動物細胞と融合したり、動物細胞に葉緑体を導入したりしました。取り込まれた葉緑体や、動物と藻類の両方のゲノムを持つハイブリッド細胞の挙動を紹介し、人工的に光合成できる動物細胞を創る研究の最前線をお伝えします。

/// 2026年7月のプログラム //////////////////////////////////////

身近な科学シリーズ

7/4 土 食卓にのぼるサケマスの生態学

13:30~15:00 講師 森田 健太郎 (もりた けんたろう) | 東京大学 大気海洋研究所
海洋生物資源部門 資源解析グループ 教授



サケ（鮭）やマス（鱒）と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。多くの人は、まず食材としてのサケを連想するでしょう。昔ながらの新巻鮭やイクラ、近年人気のサーモンなどが思い浮かぶでしょう。一方、彼らはれっきとした野生動物でもあります。サケ科魚類は、生まれた川を記憶して戻る母川回帰性をはじめ、興味深い生態をもちます。また、稚魚の放流は、漁業や環境教育を目的として、各地で行われてきましたが、生物多様性の保全という観点からは、放流は負の側面を持つこともわかっています。今回は身近なサケマスの生物学についてお話しします。

身近な科学シリーズ

7/5 日 プラナリアの再生を支える「全能性幹細胞」の謎

10:30~12:00 講師 鹿島 誠 (かしま まこと) | 東邦大学 理学部 生物分子科学科 分子情報発生学研究室
講師



プラナリアは、体の断片からでも約 1 週間で脳を含む全身を再生できる驚くべき能力をもつ生物です。この高い再生能力は、無限に分裂し、体のさまざまな細胞へ分化できる特別な幹細胞によって支えられています。しかし、この「すべての細胞を作り出せる幹細胞」がどのような細胞なのか、またどのように維持されているのかについては、まだ多くが謎に包まれています。本講座では、プラナリアの再生を支える幹細胞研究の最新の知見を紹介するとともに、人工的に作り出される iPS 細胞との比較を通して、生物がもつ「細胞の可能性」について解説します。

申込方法

申込フォーム 2次元コードまたは下記URLからアクセスし、講座詳細ページから申込フォームへお進みください。
<https://www.kagakukanq.com/otonagatanoshimu>

※フォーム送信後、受付完了のメールがGoogleから自動配信されます。参加確定メールではありません。

往復はがき ※はがき1枚につき1講座1名のみご応募ください。

往信面裏側に応募講座名・申込者氏名・住所・電話番号をご記入ください。

宛先 ▶▶ 〒260-0013 千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7階 千葉市科学館「大人が楽しむ科学教室」係

※応募者多数の場合は抽選となります。申込フォームでご応募の方は締切後に当選者のみメールでお知らせします。はがきでご応募の方は返信はがきをご確認ください。

※同一講座に複数回お申込されても1回のお申込として扱います。(申込フォーム・はがき共通)

※講座開始後のご入場や途中退場はできません。時間に余裕をもってお越しください。

※当日残席がある場合は、開始15分前より会場にて受付を行います(先着順)。



会場 10階 探究実験室

対象 高校生以上(テーマに関心のある小中学生の参加可)

定員 各回30名

料金 要常設展示入館料(裏面参照)

申込締切 6月講座…5月11日(月) 必着

7月講座…6月10日(水) 必着